

令和3年度第2回吉川市下水道事業審議会

令和4年度吉川市下水道事業当初予算（案）について

意見	回答
<p>○予定損益計算書について</p> <p>R4年度予定損益計算書において営業損失5億2千万円ほど見込んでいるが、本業において赤字であるということであり、決算時点でどれくらい圧縮できるか、決算を見ないとわからないが、本来は営業利益（黒字）計上すべきものであり、予算において赤字計上しなければならない理由とその解消策を早急とは言えないものの、今後検討すべきである。</p> <p>○資本費平準化債の考え方について</p> <p>R3、R4の予定キャッシュ・フロー計算書において、「3財務活動におけるキャッシュ・フロー」がプラスになっており、つまり起債残高が増えている傾向にある。投資に係る起債はやむを得ないが、資金繰りとしての資本費平準化債の借入については、利息を意識しなければならない。</p> <p>現時点での金利は低く、その負担はほとんどないため会計的に圧迫することはほとんどないが、今後金利上昇した時に圧縮して</p>	<p>○予定損益計算書について</p> <p>吉川市では、これまでに吉川市施工及び区画整理事業者施工により公共下水道整備を実施しており、短期間で公共下水道の整備を進めてまいりました。これにより、減価償却費が増大となり、営業損失を計上しております。収益的事業全体といたしましては、営業外収入である長期前受金戻入により、減価償却費を一部補てんしており、黒字となっております。</p> <p>長期的な見地では、営業利益（黒字化）となることが望ましいものとなっておりますが、営業損失を解消することは難しい状況です。しかしながら、施設の維持管理に努めることで更新時期を先延ばしすることが可能となりますので、今後とも適切な維持管理に努めてまいります。</p> <p>○資本費平準化債の考え方について</p> <p>資本費平準化債は、耐用年数と企業債の償還年数の差額分について発行を許可されたものであり、流動資産が少ない当市下水道事業においては、貴重な財源となっております。今後、事業経過することにより、流動資産が増加し、財源確保できた際には、資本費平準化債の借入額を抑えることも可能になると考えております。</p>

いくという考え方を検討するべきと考える。

また、起債残高が増高していくため、どの程度まで増やすか、どの程度までにとどめるのかという方針も同時に検討するべきと考える。

#### ○下水道使用料について

下水道事業収益の下水道使用料については、オミクロン株の広がりやを原因とする自宅待機増加を考えると、令和4年度予算の増加は妥当と思います。

#### ○管渠費について

設備の老朽化の問題が全国各地で提起されている状況を見るに管渠費等の増加は避けられないと考えます。

#### ○下水道台帳について

下水道台帳については、どのくらい情報が集約されているかわかりませんが、将来の設備維持のキモとなるものだと思いますので、委託事業として効率化するとしても、職員などによるチェックはしっかりと行っていただきたいと思います。

#### ○建設改良費について

令和4年度当初予算における建設改良費が令和3年3月に策定し

#### ○下水道使用料について

近年、新型コロナの影響により、在宅時間が増えたことから、下水道使用量が増加しております。使用量についてきましては、一時的なものであると考えておりますが、今後も使用量の動向に注視し、適切な予算計上に努めてまいります。

#### ○管渠費について

管渠を始めとして施設の老朽化対策といたしまして、令和4年度におきましても、管渠内のTVカメラ調査を実施する予定です。また、管渠内清掃や点検を実施し、施設の適切な維持管理に努めてまいります。

#### ○下水道台帳について

下水道台帳は、どこにどんな施設（管渠等）が埋設されているかを図面上で表すとともに、施設概要を一覧として掲載しております。施設情報を適切に更新することにより、今後の施設の更新作業の基本情報として活用してまいります。また、令和4年度からは下水道台帳をホームページで公開することにより、事業者の方が来庁せずとも埋設位置等を把握できるようにしてまいります。

#### ○建設改良費について

令和4年度当初予算における建設改良費の主なものとしては、吉川

た吉川市下水道事業経営戦略で計上した数値よりも少ないことが気になります。金額そのものが戦略 732 百万円⇒予算 675 百万円。内訳も、企業債による美南駅周辺の管渠布設が主で、老朽化管渠の対策は調査費のみでは、最初から計画が崩れていくのではないかとさえ、思えてしまいます。全体予算の中で仕方がないことは理解しています。

ただ、現状を把握しないと対処方法も定まらないのは確かなので、早急に調査を完了し、対策を決めることを推し進めていただきたいです。

○浸水対策事業について

駅前や南中学校周辺の浸水対策について、現所や今後の取り組みについて、記載があっても良いのではないのでしょうか。

○長期的展望や計画に沿って着実な推進を期待します。

美南駅東口土地区画整理事業地内における下水道管布設工事などの管渠費工事費に 298,426 千円、市内各ポンプ場の機械設備修繕更新費用として、ポンプ場修繕費 145,535 千円、ポンプ場工事費に 94,985 千円計上しております。当面は、財政状況を考慮しつつ、吉川美南駅東口土地区画整理事業及びポンプ場設備の更新に重点を置いて、建設改良費の予算措置を行ってまいります。また、老朽化した管渠の更新につきましては、吉川美南駅東口土地区画整理事業地内の下水道管布設工事事業の完了後、耐震化計画を策定し、耐震化工事と併せて老朽化管渠の更新を進めていく予定です。

○浸水対策事業について

吉川駅前の第 1 排水区については、総合治水対策の一環として、流出解析を一般会計で実施しています。

南中学校周辺については、職員が側溝の調査、清掃等を実施しており、特に予算執行しておりません。

以上のことから、下水道事業会計の予算には、記載はありませんが、今後課題や対策が見えてくれば、必要に応じて予算計上してまいります。

○長期展望や計画について

5 年毎に行う吉川市下水道事業経営戦略の見直しの中で、必要なものについては、変更してまいります。